

## (1) 防災・安全

### ③ 消防機能の整備・充実

～消防・救急・救助体制が充実し、市民が安心して暮らせるまちをめざします～

推計事業費（3ヵ年合計）：2,658百万円

#### ◆目標とすべきまちの姿

消防施設は老朽化耐震対策が実施され安定的に火災等への対応がなされています。消防救急無線はデジタル化が図られ、緊急時にも適切な情報通信が可能となっています。

市民の防火・防災意識は高く、すべての一般住宅には住宅用火災警報器が設置され、災害時の避難誘導等の減災体制は消防団、自主防災組織などとの連携が効果的に行われています。

#### ◆主な取組

##### 1. 消防施設の整備・機能充実

災害時の防災拠点となる消防庁舎・消防団器具置場などの消防施設や設備の充実を図るとともに、消防の組織、機能の総合的な整備を図ります。

##### 2. 情報通信機能の高度化の推進

情報通信機能の高度化を推進するため、消防救急無線のデジタル化を図るとともに、消防緊急情報システムの充実・強化に取り組みます。

##### 3. 救急・救助体制の充実強化

- (1) 複雑、多様化する救急及び救助活動に対応するため、救急知識と救助技術の向上を図り、医療機関と連携した救急・救助体制の充実強化に取り組みます。
- (2) 市民に対し、応急手当の普及啓発活動を積極的に行います。
- (3) あらゆる災害から市民の生命財産を守るため、消防職員の高度な消防技術の維持向上をめざします。

##### 4. 火災予防対策の推進

- (1) 火災による死傷者及び被害の減少を図るため、一般住宅への住宅用火災警報器の普及啓発を推進し、住宅防火対策を進めます。
- (2) 高齢者福祉施設など、災害弱者が利用している事業所への立入検査を強化します。
- (3) 自主防災組織などにおける消火・避難訓練を通じて防火意識の高揚を図るとともに、消防団が各地域において防火意識の高揚の担い手となるよう、消防団活動の充実を図ります。

## ◆この施策の方針内で実施する事業（実施事業）

事業名	所管課	事業内容
消防運営事業	消防総務課	旅費、各署所の光熱水費、負担金等の執行等、消防に係る一般事務を行うとともに、職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画し実施します。
消防施設管理事業	消防総務課	庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するため、災害時の拠点となる消防庁舎機能の維持管理を行います。
警防活動事業	警防救急課	警防活動に必要な備品の整備、機器の保守点検等を行うとともに、消防学校における各種研修を受講し、技術向上を図ります。
救急活動事業	警防救急課	救急救命士の高度化教育、救急隊員の養成を図り、救急体制の充実を図ります。市民を対象に普通救命講習を実施するとともに、公共施設等に設置した自動体外式除細動器（AED）を引き続き配置し、救命率の向上をめざします。
<重点事業> 指令活動事業	指令情報課	消防救急無線をデジタル化し、高機能な消防通信指令システムを備えた新消防指令センターを大船消防署への消防本部機能の移転に合わせ整備します。
予防活動事業	予防課	火災予防の指導・広報、火気使用設備・器具等の設置についての審査、危険物製造所等の設置等の許認可等を行います。 火災予防に対する相談の受付、事業所等に対する防火管理に関する指導、火災原因及び損害調査、年度査察計画に基づく査察を実施します。
消防団運営事業	消防総務課	消防団の車両、資機材、器具置場等の整備及び団員報酬等の支出等、消防団の運営、活動に係る事業を行います。
消火栓管理事業	警防救急課	水道事業者が行う配水管の新設及び交換等にあわせて適地を選定し、消火栓を新設する等、水道法の規定に基づき、消火栓の維持管理を図ります。
<重点事業> 消防施設整備事業	消防総務課	平成27年4月までに指令情報室を含む消防本部機能を鎌倉消防署から大船消防署へ移転し、有事の際の指揮命令系統の確立を図るため、改修工事を行います。老朽化した腰越消防出張所を平成28年度中に建て替えるため、改築工事を行います。
車両購入事業	警防救急課	各種緊急自動車の計画的な更新を行います。

## ◆重点事業

事業CD	5-1-3-1	事業名	指令活動事業		
所管課	指令情報課				
事業目標	平成27年4月までに消防救急無線（共通波・活動波）をデジタル化し、高機能な消防通信指令システムを備えた、新しい消防指令センターの運用を開始します。				
事業内容	消防救急無線をデジタル化し、高機能な消防通信指令システムを備えた新消防指令センターを大船消防署への消防本部機能の移転に合わせ整備します。				
特記事項	「安全な生活の基盤づくり」につながる事業				
事業工程	平成26年度	平成27年度	平成28年度	推計事業費	
	消防救急デジタル無線設備の整備 高機能消防指令センターの整備	管理・運用	管理・運用	1,462.0百万円	

事業CD	5-1-3-2	事業名	消防施設整備事業		
所管課	消防総務課				
事業目標	消防本部機能について津波による支障を排除し災害時における消防指揮命令系統を確立することで、消防力を強化します。また、津波襲来時に備え堅牢な消防庁舎に建替えます。				
事業内容	平成27年4月までに指令情報室を含む消防本部機能を鎌倉消防署から大船消防署へ移転し、有事の際の指揮命令系統の確立を図るため、改修工事を行います。老朽化した腰越消防出張所を平成28年度中に建て替えるため、改築工事を行います。				
特記事項	「安全な生活の基盤づくり」につながる事業				
事業工程	平成26年度	平成27年度	平成28年度	推計事業費	
	大船消防署改修工事 腰越出張所改築工事 設計・地質調査 腰越出張所解体工事	腰越出張所改築工事	腰越出張所改築工事	537.6百万円	